茨木市立東中学校　生徒指導推進委員会
生徒指導通信３号　　令和３年４月２８日
文責：生徒指導主事　森山　聡

根気よく、主体的に学ぼう　～自分も周囲の人も大切にしよう～　自分と向き合い、進路を切り開こう

～今、私たちにできること～

「何でもかんでもしたらあかんって言うなら、学校休校すればいいやん」
と、ある生徒が嘆いていました。その通りです、残念ながらコロナ感染の対応で東中学校も皆さんに、「〇〇してはいけないよ」「△△に気を付けて行動しよう」「□□もあかん」
と言わざる負えない状況が続いています。その連絡を聞く度にうんざりしている人、感染に対しての恐怖心が増している人も多いと思いますが、みなさんの学びを止めないために学校を続けています。

３回目の緊急事態宣言が大阪にも出て、部活や授業、学校行事はもちろんですが、その他にも細かい事でこれまで以上に窮屈に感じる事が多くなっています。

体の健康が第一なので、この変化の時代に対応し、マスク着用の徹底やソーシャルディスタンス、手洗いなどを行い健康維持のため気を付けるしかないですが、同時に「心の健康も第一」です。　コロナ感染のリスクへの不安はもちろんですが、コロナ感染者や濃厚接触者になってしまった人が心の部分でも苦しい思いをする事がないように、今こそ「相手の立場を考えて」行動することが大切になります。自分の言動がそんなつもりではないけれど、もしかすると相手を傷つけるかもしれません。こんな事は、別に今だからだけではなく通常の時も同じことが言えます。だけど、こんな時だからこそなお更気をつけたいことですね。
今、感染をまん延させないために「区別」しなければならない場面が多いからこそ、本当に気をつけなければ、思わぬ場面で「差別」につながってしまいます。
「区別」と「差別」を間違っても一緒にしないこと。

誰でもそうですが、感染しようと思って感染する人など１人もいません。自分ならどう思うのか、どうすべきなのか、を考えて生活していけたらと思います。

～東中を支えてくれるスタッフ紹介～

東中には教員以外に専門的な知識をもつスタッフがいます。
紹介したいと思います・・・

ＳＣ（スクールカウンセラー）

さわやかな風に誘われて、山のお寺に出かけたら、若葉の緑が目にしみました。
つかの間の癒しになりましたが、これも不要不急になるのでしょうか。
子どももおとなも長引くコロナ禍の下で、さまざまな形でストレスを感じています。
もやもやした悩みや困り事、心の不調を感じたら……？
スクールカウンセラーは、心の状態を整理して、問題解決に向かうお手伝いをします。安心してご相談下さい。

スクールカウンセラー　黒田愛子

ＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）

はじめまして！
スクールソーシャルワーカー（SSW）で社会福祉士の大原（おおはら）直美（なおみ）です。
茨木市での勤務は２年目です。初めて東中学校へ出勤した日、生徒さんから「おはようございます！」と声をかけてくださり、私も元気をいただきました。
困りごとは ひとりでかかえずに。
１年間 どうぞよろしくお願いします。

毎週火曜日が勤務日となっています。
生徒の皆さんはもちろん、保護者の方の相談もお受けします。子育てのこと、ご家庭でのお悩みなどありましたら、お気軽にご利用下さい。
事前予約が必要ですので、窓口は基本的に担任もしくは生徒指導主事（森山）になっておりますのでご連絡ください。